

# 流域下水道事業会計

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較
収益的支出	9,893,199	10,548,046	△ 654,847
1 款 流域下水道事業費用	9,893,199	10,548,046	△ 654,847
営業費用 P. 391	9,581,773	10,218,486	△ 636,713
営業外費用	311,426	329,560	△ 18,134
資本的支出	5,258,058	5,968,412	△ 710,354
1 款 流域下水道事業資本的支出	5,258,058	5,968,412	△ 710,354
建設改良費 P. 392	3,820,521	4,474,260	△ 653,739
企業債償還金	1,437,537	1,494,152	△ 56,615

## 【流域下水道事業会計】

年度	4	事業名 (事項)	営業費用	担当部課 担当者 連絡先	県土整備部 下水環境課 下水道管理係 027-226-3682
会計名	流域下水道事業会計			説明書ページ	365
予算科目	流域下水道事業会計 一 営業費用				
事業期間	S56年 ~ 年	根拠法令	地方公営企業法、下水道法		
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	企業債	内部留保資金等
当初予算額	9,581,773	55,150	9,526,623		
(前年度)	10,218,486	34,500	10,183,986		
(前々年度)	10,068,788	360	10,068,428		
決算額					
(前年度)	9,979,467	25,152	9,954,315		
(前々年度)	9,680,048		9,680,048		
事業目的 (県民にとってのメリットは?)				新・総合計画(基本計画)との関連	
流域下水道施設を適正に維持管理することにより、快適で衛生的な住環境の確保及び公共用水域の水質を保全する。					
事業計画 (具体的に何をするのか?)				事業費(節)の内訳	
○各水質浄化センター及び中継ポンプ場の維持管理				人件費	333,791
○下水道管渠及び人孔(マンホール)の維持管理				委託料	2,912,393
処理区別管理費内訳				修繕費	426,241
・ 奥利根処理区	845,125千円	1市1町	(S56供用)	手数料	224,143
・ 県央処理区	5,639,574千円	6市3町1村	(S62供用)	薬品費	168,423
・ 桐生処理区	1,127,540千円	2市	(H7供用)	減価償却費	5,360,081
・ 西邑楽処理区	848,122千円	1市3町	(H12供用)	除却損	34,066
・ 新田処理区	491,927千円	1市(太田市管理)	(H18供用)	除却工事費	98,800
・ 佐波処理区	464,639千円	2市(伊勢崎市管理)	(H20供用)	その他	23,835
・ 一般管理費	159,026千円		ほか		

## 【流域下水道事業会計】

年度	4	事業名 (事項)	建設改良費		担当部課	県土整備部 下水環境課	
					担当者	流域下水道係	
					連絡先	027-226-3684	
会計名	流域下水道事業会計				説明書ページ	367	
予算科目	流域下水道事業資本的支出 - 建設改良費						
事業期間	S52年 ~ 年	根拠法令	地方公営企業法、下水道法				
	事業費	国庫支出金	その他特定財源	企業債	内部留保資金等		
当初予算額	3,820,521	2,005,850	863,671	951,000			
(前年度)	4,474,260	2,343,500	1,027,760	1,103,000			
(前々年度)	3,080,909	1,660,390	672,519	748,000			
決算額							
(前年度)	3,703,156	1,957,196	828,960	917,000			
(前々年度)	1,337,529	636,696	311,333	389,500			
事業目的 (県民にとってのメリットは?)					新・総合計画(基本計画)との関連		
下水道を整備・普及することにより、快適で衛生的な住環境を確保するとともに、公共用水域の水質を維持改善する。					VI 官民共創コミュニティの育成		
事業計画 (具体的に何をするのか?)					事業費 (節) の内訳		
○社会資本総合整備 3,692,150千円					建物	45,500	
・流域下水道幹線管渠建設費 (補助率1/2) 1,310,300千円					構築物	1,154,000	
・終末処理場施設建設費 (補助率1/2及び2/3) 2,248,500千円					機械及び装置	2,484,500	
・建設事務費 133,350千円					工具器具及び備品	171	
○単独流域下水道建設 128,371千円					補償費	3,000	
・流域下水道幹線管渠建設費 113,200千円					建設事務費	133,350	
・終末処理場施設建設費 15,000千円							
・備品等購入 171千円							
※建設事務費: 工事の設計・施工管理等に係る人件費、旅費や需用費等							